

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!**

- サービス向上への3ステップ -  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
 (他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
 関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームうつのみやさんの家

(ユニット名) \_\_\_\_\_

記入者(管理者)

氏名

兵頭 いずみ

評価完了日

平成 19 年 4 月 25 日

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 6月 17日

### 【評価実施概要】

事業所番号	3873800290		
法人名	社会福祉法人宇和町社会福祉施設協会		
事業所名	うつのみやさんの家		
所在地	愛媛県西予市宇和町岩木1027番地 (電話) 0894-62-9204		
管理者	兵頭 いずみ		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年5月8日	評価確定日	平成19年6月17日

【情報提供票より】 (平成19年4月25日 事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成13年7月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	6 人	常勤	6人, 非常勤 0人, 常勤換算 6.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	10,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			
(3)利用者の概要 (平成19年4月25日現在)			
利用者人数	6 名	男性 2 名	女性 4 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名
要介護3	0 名	要介護4	0 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 88.1 歳	最低 83 歳	最高 93 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定	(あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護	
指定	あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護	
届出	あり・(なし)	短期利用共同生活介護	
加算	あり・(なし)	医療連携体制加算	

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園風景の広がる中、古い民家の事業所に6名の利用者が住まわれているグループホームで、周りには蔵や納屋、池や畑などがある。  
 開設以来6年間、地域の方達とは散歩などの機会を通して顔見知りとなっており、運営推進会議の回数を重ねてさらに関係性を深めておられる。会議の話し合いをきっかけに地域の方達の協力を得て、事業所の古い小屋を壊し、駐車場を作っていた。事業所は、畑が充実しており、献立は畑の収穫物で決まることもある。  
 開設記念日には、歴代の職員が集まり、法人内で異動となった職員もたまに「たたいま」と訪ねて来られる。

### 【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・これまでのアセスメント等の様式に、センター方式を採り入れていこうとされていた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・利用者の入れ替わりや職員の異動等があり、今回は、自己評価作成に時間を要せなかった。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・会議時に話し合われたことが、即地域の方の協力で実行に移された。古い小屋が取り壊されて駐車場となった。また、玄関横に避難口が設置された。会議を重ねるごとに地域との関係性が深まりよかったとの事業所の感想であった。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・入居間もない利用者のご家族等との関係性を作っていくことをすすめておられる。現在は、ご家族が意見を表せる機会は少なめである。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・地域の行事等に参加されたり、地域の方がボランティアに来てくれるようになっている。地域の一人暮らしのお年寄りの方の姿が最近見えなくなったと地域の方から連絡があり、事業所側で自宅を訪ねたようなこともある。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			利用者一人一人が、地域の一員として生活できるように支援することを理念に掲げている。		
			(外部評価)		
			「一人ひとりが地域の中の一人としての生活を送る」地域の中で利用者がその人らしい当たり前の生活が送れるよう支援するための理念を作っておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			施設内に貼付し、常に共有できるようにしている。		
			(外部評価)		
			管理者と職員は、理念を十分に理解し共有され、日々実践されている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			運営推進会議で説明を行った。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩中の挨拶を心掛けている。また、近隣の方より野菜等を戴いたり、良い関係づくりに努めている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 敬老会、運動会、お祭、文化祭等の地域の行事に参加している。回覧版をまわしてもらっている。 (外部評価) 地域の行事等に参加されたり、地域の方がボランティアに来てくれるようになってきている。地域の一人暮らしのお年寄りの方の姿が最近見えなくなったと地域の方から連絡があり、事業所側で自宅を訪ねたようなこともある。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 取り組んでいない。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価の意義は充分理解できているが、意識改革のみで、具体的改善には至っていない。 (外部評価) 利用者の入れ替わりや職員の異動等があり、今回は、自己評価作成に時間を要せなかった。センター方式を採り入れていこうとされていた。		事業所のさらなる質の向上を目指して、サービス評価の機会を活用できるよう計画的に取り組んでいかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)  駐車場の整備、緊急避難口の設置等、運営推進委員の 方たちの意見で行った。		
			(外部評価)  会議時に話し合われたことが、即地域の方の協力で実 行に移された。古い小屋が取り壊されて駐車場となっ た。また、玄関横に避難口が設置された。会議を重ね るごとに地域との関係性が深まりよかったとの事業所 の感想であった。		次回の会議では、今年度の年間計画を立てること となっていた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)  市主催で事業者連絡会を行っている。		
			(外部評価)  市の呼びかけで市内のグループホーム事業所が集ま り、勉強会や施設見学を行っている。管理者は、要介 護認定審査委員等でも市とかかわられている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)  該当する入居者がいないため、行っていない。 管理者のみ、研修会等で理解している。		
			(自己評価)  努めている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居前に訪問し、ご家族、ご本人と面談し、おおむね説明をおこなっている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員の訪問を受入れている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 2ヶ月に一度個人向け広報により報告をしている。また来所時に報告も行っている。 (外部評価) 利用者の状態に応じての連絡、報告となっており、ご本人の緊急時等には頻繁に連絡を取っている。普段は、ご家族の来訪時に、利用者の日頃の様子を伝え、また、来訪の少ない目のご家族には、2ヶ月に1回写真や近況報告を送られている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 広報で個人の携帯をお知らせして、何かあれば連絡をもらうようにしているが、積極的に意見を引き出すような働きかけはできていない。 (外部評価) 入居間もない利用者のご家族等との関係性を作っていくことをすすめておられ、その他ご家族が意見を表せる機会については、現在は少なめである。		ご家族からの意見はあまりないようであるが、ご家族からの声の大切さを投げかけ、働きかけや意見を出すような機会を増やしていこうと考えられていた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 母体施設であるデイサービスでの職員会、グループホームでの職員会等で意見を出せる機会を作っている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 勤務の調整は行っていないが、必要時には休日、夜勤明けの職員が対応するようにしている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動は私達の一存ではどうしようもなく、昨年末にひとり、年度末に二人、計3名の異動があり、落ち着いたケアができない状態。離職者は無し。		
			(外部評価) 法人内での異動はあるが、事業所の開設日に歴代の職員(年々増える)が全員集合するようになっている。また、利用者の孫だと思われていた職員が、時々「ただいま」と事業所を訪れてくれる。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 施設内研修、各研修に出来るだけ参加できるようにしている。		
			(外部評価) 先輩職員が新人職員に指導する等、管理者は事業所内で職員を育てていけるよう取り組まれている。県GH協会の職員研修を受講されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)			
				法人内では交流の機会があるが、対外的には行っていない。		相互研修に今年度は参加したいと考えている。 法人内の4施設合同で、認知症の勉強会を計画している。
			(外部評価)			
					市主催の勉強会等に出席され、地域の他の事業所と交流されている。	以前、相互訪問を実施したことがとても有効であったこともあり、今後も実施したいと考えておられた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)			
					特に工夫はしていない。	
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)			
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>						
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)			
					入居前に訪問し、ご家族、ご本人と面談し、意見を伺うことにしている。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 23と同じ		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 23と同じ		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 訪問時に話し合っている。		
			(外部評価) 入居前に事業所に訪れご本人が納得して決められる方や、事業所側が利用者を訪問し、ご本人ご家族とゆっくり相談しながら決める方もいる。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 入居者の協力なくしてはホームの生活が成り立たない。助けられたり、教わったりすることが多い。		
			(外部評価) 「いつもお参りさせてもらっている神社なので皆で掃除をしよう」という利用者の提案に、職員も一緒に掃除を続けておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 情報交換等を密に行い共に支えている方もおられるが、昨年度は入居者の入れ替わりが多くあり、ご家族が遠くにおられる方もあり、関係がまだ希薄な所もある。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 時々面会に来られたり、外出されたり良い関係をきずいておられる方もある。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 知人等が面会に来られたり、日々の散歩、地域の行事等に参加して関係の継続を支援している。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) なるべく共同で協力し合える作業等提供するように心掛けたり、また職員が仲立ちをして良い関係をきずき合えるよう努めているが、入居者全員が良い関係を築いているとは思えない。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所者、家族等から電話、訪問等の付き合いがある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p> <p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の日常の発言、バックグラウンド、家族からの情報をもとに、検討している。が、なかなか引き出せない利用者があり、できていない部分が多い。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>意向等、希望表出が難しい利用者については、ご家族から情報を提供してもらうようにされているが、情報提供量が少ないような場合もある。</p>		<p>事業所では、今後も、日々の暮らしの中からご本人の思いや希望を把握するよう努め、また、さらにご家族へも情報提供をお願いして「その人らしい暮らし方」を支援していきたいと考えておられた。</p>
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入所前の面接調書、家族からの聞き取り等、より多くの情報を得るように努めている。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p></p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人一人のペース、体調等の見極めを行うようにしている。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p></p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>作成時相談は行っていないが、意見、意向は反映できるように留意している。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>介護計画は本人の病気歴、生活史、社会的背景、本人家族のニーズ、最近までの暮らしの様子、主治医の診断書など細かく記録され、それらに基づき作成されている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 3ヵ月ごとの見直し、状態によっては、それ以前に見直しを行う。		
			(外部評価) 介護計画作成後に計画の内容について、ご本人、ご家族へ説明をされている。新しい取り組み等を始めるときには、ご本人やご家族に相談を行っておられる。		さらに、ご本人にかかわる人達の意見が反映されるような介護計画の作成にも取り組んでいかれることが期待される。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の状態は記録しているが、気づき、工夫等の記載がない。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 外出等の支援を行っている。		
			(外部評価) ご本人の希望で自宅に持ち物を取りに帰られたり、自宅の換気に出かけることもある。また、お墓掃除やお参りを職員と共にされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 生花が習いたい利用者があり、生花教室の先生に、グループホームにボランティアで教えに来ていただけるようになった。 また、避難訓練も近隣の方が参加していただき、協力体制ができつつある。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) していない。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) していない。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 必要に応じて、往診していただいたり、専門医を紹介していただいている。  (外部評価) 基本的にはご家族が病院受診に同行するようになっている。ご家族が遠くにいるような場合は事業所で同行されている。かかりつけ医での対応が困難な場合は、協力医療機関で対応されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症に詳しい医師が近隣にいない。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 母体施設の看護職員の応援がある。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 情報の提供を行っている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人、家族の意向に沿い、対応方法を決めている。 (外部評価) 入居時や重度化した時に、ご本人ご家族から意向を聞くようにされている。これまでに、二人の利用者を看取られた経験がある。ご家族も事業所に泊まり、職員とともに看取った。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 47と同じ。家族の殆どの方が重度化したら入院を希望されている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 情報提供を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)  尊厳を大切に対応している。		
			(外部評価)  利用者の居室に職員が入る際の声かけ、排泄、手洗い、口腔ケアなどの声かけもさりげなく、その人にも分かるような声かけでなされていた。個人記録などの情報の取り扱いもプライバシーに配慮されていた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)  買物でおやつを選ぶ、服を選ぶ等、個々に合わせた選択法を取れるよう支援している。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)  利用者のその時の状況、体調により、活動をきめる。		
			(外部評価)  その日、その時の状況を見ながら、食事の準備、庭の草引き、洗濯物の取り入れ等その人に合った生活支援がなされている。散歩はその日の体調に合わせて遠いコースと近くのコースがある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 希望により、職員が散髪している。身だしなみ、おしゃれに興味をもたれない。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 下ごしらえ、配膳、下膳等を一緒に行っている。  (外部評価) 食事の準備はその人に出来る事を行ってもらうようにされている。食べ方もさりげなく声かけされ、利用者は、ご自分の好み等についてお話しされていた。食後の後片づけも職員と一緒にされていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 状況を把握し支援している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 定期的な誘導等心掛けているが、把握できていない方もおられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)  毎日入浴は行っている。時間帯は、どうしても職員が2人いる、日勤の時間帯に終るようになっている。  (外部評価)  入浴を嫌がる人にも話ながら服を脱いでもらったり湿布の張り替えなどと、声掛けされながら全員が入浴出来るように支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)  日中の散歩等で活動し、夜間安眠できるようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)  畑仕事やお出かけ等できるだけ個々にあった役割、楽しみ事等を支援するようにしているが、できていない利用者もあり、今後の課題である。  (外部評価)  日頃は閉じこもりがちな方もお客さんが来る時には、よく動かれるということをつえ、お客さんにお茶を出してもらうようお願いされたり、これまでの生活を継続できるようご家族と集会に出かけられたり、手芸をされる方には、新しい作品作り等も提供されている。		ご家族と一緒に墓参り、カラオケ等の外出をしてもらい、気晴らしができるように、お願いしているが、まだ実現できていない。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)  二人、小銭のみご自分で管理されており、参拝寺のお賽銭等に使われている。他の方は全く関心がない。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)  毎日の散歩、畑仕事、買物等できるだけ外気に触れるようにしている。  (外部評価) 毎日午前(遠いコース)、午後(近いコース)の散歩を楽しまれている。買い物にはスーパー、産直市、ドラッグストア等にも出かけておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)  ほぼ年に1回、家族と共に遠足を実施している。昨年は、利用者、職員でサーカスを見に行った。個別には、以前お墓掃除、お墓参りに行っていた利用者がいたが、退所され最近はない。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)  家族が遠方に住んでおられる方には、電話を時々かけるように支援している。暑中見舞い、年賀状を毎年利用者を書いてもらっている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)  気軽に着ていただけるように声かけ等行い、居心地のいい雰囲気を作るよう心掛けている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 拘束は行っていない。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間のみ施錠している。  (外部評価) 昼間は施錠されていない。調査訪問当日は、良いお天気で、居室の窓は開かれていた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に利用者の所在は把握するようにしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意が必要な場合は、立ち会って、危険のないように対応しているが、洗剤、消毒等の物品は目につかない所、手の届かない所にしまっている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人一人の危険性を考え、対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  マニュアル書作成や、避難訓練、等を行っている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  避難訓練に近隣の方たちも参加してもらい、どのように避難誘導すればいいか話し合った。  (外部評価)  夜間想定消防避難訓練を近隣の人達も参加して行った。火災発生時には「大きな音の出る物で知らせて欲しい。」と要望があった。		さらに、今年度中にサイレンを設置する予定である。避難場所に集会所の利用を地区にお願いされている。さらなる利用者の安全に向けての取り組みが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価)  自室での転倒等どうしても避けられない場合のリスクを充分説明している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  電話で、職員間、家族に連絡している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 投薬表に処方箋を沿えている。職員全員が、副作用等について理解しているかどうかはわからない。用法、用量はまちがいのないようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 牛乳、イモ類の摂取、水分摂取、運動により対応している。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の歯磨き実施		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) している。特に水分補給に気をつけている。 (外部評価) 食事量の日々の記録はされていないが量の少なかったとき、おかわりされたときなどは記録されている。水分確保には充分気を付けておられる。特に散歩の後、普通より多い水分摂取ができるよう努められている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 予防接種、うがい、手洗い、消毒を実施している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ふきん、まな板の消毒、食材に関しては、賞味期限に注意している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>常に自由に出入りできるようにしているが、特に工夫をしていることはない。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>民家改修のため、生活感、季節感共に感じられる空間である。</p> <p>(外部評価)</p> <p>民家改修のホームであり、利用者には慣れ親しんだ自宅に近い空間となっており、食事の準備の音やおかずの臭いを感じながら静かでゆったりとした時間が流れていた。廊下には夜間時、足元を照らすセンサー付きライトが設置されていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>敷地が広く、庭や畑が家の周りにあり、自由に過ごせる空間が多い。戸外にベンチを設置している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)  タンスや遺影、ベッド等持ち込まれている。		
			(外部評価) 自宅より陶器の湯たんぼを持ち込まれている方、庭の花を摘んで生けておられる方などがある。居室にこもりがちの方がお花が好きであるとの情報を得て、居室内に花を飾られた。その後、日に日に落ちてきて来られたような事例もあった。		さらに、今後も利用者の状態に合わせて、居室のしつらえの工夫を重ねていかれることが期待される。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)  窓を開け空気の入替えを行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)  玄関、浴室、トイレ、廊下到手摺り設置。浴室に滑り止めマット、等で状態に合わせて使用できるようにしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)  夜間、トイレ及びトイレまでの廊下は常に点灯してわかりやすく、危険のないようにしている。又、張り紙等で認識できるように対応している。		
87		建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)  畑、洗濯物干しが外にあり、自由に出入りされている。		

サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんど掴んでいない	異動により全員が把握できていない。 また最近意欲低下の利用者があり、今後の課題である。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己 ①毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	昼寝や、日向ぼっこなど、利用者の高齢化と共に活動量が減った。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	身体的、年齢的、認知症の進行度等の差異により個々のペースに合わさないと、成り立たない。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	意欲低下が見られ、表情の暗い方がおられる。 関わりを増やして、本人の好きなこと、したいことを会話や反応等から見つけ出すようにしている。 また家族にもお出かけ等の機会を作ってもらおうようお願いしている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	いきたいところへいきたい時に自由に出かけることは、不可能であるが、極力希望に添うようにしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	最近、二人肺炎で入院された。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	刻々と変化する心理状況に対応している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己 ③家族の1/3くらいと 評価) 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	利用者の入れ替わりが多く、家族との関係もできていない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己 ③たまに 評価) 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	買物や散歩中に地域の方たちとは良く出会うが、個々の馴染みの方が尋ねてこられるのはたまにである。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② <b>少しずつ増えている</b> 1 大いに増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	推進委員さんが、地域の方に声をかけていただき、駐車場の整備、畑の管理等に参加していただいた。また、草刈等も年に何回か来ていただいている。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① <b>ほぼ全ての職員が</b> 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者に向き合って、一人一人に合わせたケアが良くできていると思う。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② <b>利用者の2/3くらいが</b> 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	やらされている、という意識の方もおられると思う。自発的にはなかなか動こうとされないため。また、動こうという、何かを見つけれないことも、原因と思われる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② <b>家族等の2/3くらいが</b> 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族とのコミュニケーションが取れていない。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

開所当時からの方針としては、可能な限り毎日散歩を行っている。外気に触れることで、季節を肌で感じ、五感を刺激し、適度な疲労感を感じ、また足腰の強化にもつながっていると思う。  
 一人一人が楽しく生きがいをもてるように、したいこと、好きなことを少しずつ、実践していくことを目標にしている。  
 生花、わら細工等今挑戦中である。(入居者が昨年大幅に入れ替わったため、個々の楽しみを今模索中)  
 また、入浴拒否のあるかたを、何とかその気になっていただくよう、関わりを考えながら、ほぼ毎日入浴して戴いている。